

所定疾患施設療養費の算定状況（老人保健施設あいじゅ）

令和元年度 算定なし
令和2年度

	尿路感染症	
R2.4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
R3.1月	1件	4日
2月	0	0
3月	0	0

算定条件

- 1.所定疾患施設療養費は、肺炎等により治療を必要とする状態になった入所者に対し、治療管理として投薬・検査、処置等が行われた場合に、1回に連続する7日間を限度とし、月1回に限り算定するものであるので、1月に連続しない1日を7回算定することは認められないものであること。
- 2.所定疾患施設療養費と緊急時施設療養費は、同時に算定することができないこと。
- 3.所定疾患施設療養費の対象となる入所者の状態は次の通りであること。
 - イ 肺炎
 - ロ 尿路感染症
 - ハ 帯状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合に限る）
- 4.算定する場合にあつては、診断名、診断を行った日、実施した投薬、検査、注射、処置の内容等を診療録に記載しておくこと。
- 5.請求に際して、診断、行った検査、治療内容等を記載すること。
- 6.当該加算の算定開始後は、治療の実施状況について公表することとする。
公表に当たっては、介護サービス情報の公表制度を活用する等により、前年度の当該加算の算定状況を報告すること。

疾患別の主な治療内容

尿路感染症

尿検査など診察結果に基づき、内服（抗生剤投与）、水分補給（点滴・経口補水）などの必要な治療